

2019 年 1 月 20 日 第 536 号 (隔月発行)

アジアの友

The Asia-no Tomo

12-1

DECEMBER-JANUARY

2018-2019

外国人労働者受入れ拡大 19 年 4 月から

<日本で働く!> 廖 伊敏さん (マレーシア)

アジアセミナー韓国語講師 山下透先生 韓国アナウンサー大賞受賞

中国・周而復著『長城万里図』全6巻 翻訳出版完了





年末恒例の“餅つき”を開催

2018年12月26日（水）、アジア文化会館では年末の恒例イベントである“餅つき”を行いました。参加したみなさんは少々やわらか過ぎ？のお餅に大苦戦しながらも、初めての餅つきを楽しみました。最後は出来上がったお餅をポテトチップスや白だし等の新しいフレーバーで味うなど、笑顔の絶えない年末の一時となりました。



アジアの友

2018年12月-2019年1月号 第536号

目次

2	「年頭のご挨拶」 白石勝己（公財）アジア学生文化協会 理事長
	Topic
3	外国人労働者受入れ拡大 19年4月から
	Interview
6	＜日本で働く！＞ 廖 伊敏（Yimin LIEW）さん ～マレーシア
	私の意見私の体験
12	「真面目すぎる日本人に思うこと」 ゲン ティ カン ホア ～ベトナム
	News
14	アジアセミナー韓国語講師 山下透先生 韓国アナウンサー大賞受賞
	ご紹介
16	中国・周而復著『長城万里図』全6巻 翻訳出版完了
	コラム 泰日工業大学奮闘記
19	③⑩ 「TNI 国際プログラム留学体験 長崎大学工学部土木工学科 浦 和幸君のケース」 水谷光一
	ご報告
22	新星学寮建替え募金（2018年12月31日現在）
23	知友会通信
24	MEMBERS

＜表紙＞ マレーシア・クアラ トレンガヌの
「クリスタルモスク」 by ake1150sb

年頭のご挨拶

(公財) アジア学生文化協会 理事長

白石 勝己

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年末には入国管理法の改正が行われ、新たな在留資格「特定技能」が設けられました。これにより、これまで「技能実習」などの名目で、横道から受け入れられてきた外国人の現場労働が、正面から実質的に導入されることとなります。この間、国会をはじめマスコミなどでは、賛否様々な議論が交わされてきていますが、まずは、これまで欺騙的に取り扱われてきた問題が、正面から取り上げられるようになったことについては評価してよいと思います。この問題は、日本における人口減少、社会保障制度、経済力、技術力など将来の国のあり方までを見据えなければならない事柄ですが、地域における外国人留学生の生活環境整備や日本語教育を事業とし、日本とアジア等諸外国との相互理解促進、互惠協力を目的としてきた当協会としても、多くの領域を包摂する問題と捉え、しっかり重心を落として取り組んでいかなければならないと思います。



私儀、昨年6月の臨時理事会にて、小木曾前理事長より職責を引き継ぎ半年が過ぎました。この間、前職務を引きずりながらの対処でしたが、国内外の関係の方々、在館・在学生、教職員のご協力により、無事新年を迎えることが出来ました。今後の協会に課せられる課題は「新たな時代に立ち向かうためのビジョンの構築と世代交代」であると思います。当協会は誠に微力ながら、冒頭に触れた日本における多文化共生問題のみならず、アジア、世界における共生共存にも目を向け、事業を展開、展開させて行きたいと考えています。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。

外国人労働者受入れ拡大 19年4月から

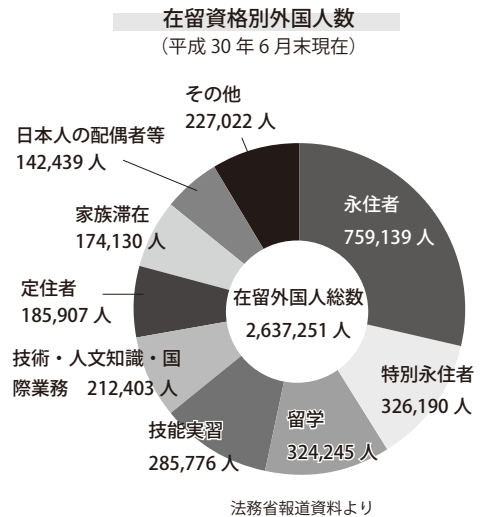
昨年12月、外国人労働者の受入れ拡大を目指した改正入管法が成立した。これによりこれまで認められなかった外国人の単純労働が一部解禁されることになる。今年2019年4月からスタートするこの制度および留学生の就労機会拡大の可能性について、現在明らかにされている情報をもとにその内容を簡単にまとめてみることにする。なお、一部予定や予想を含む内容であることを予めご承知置きたい。 (編集部)

留学生が30万人を突破

法務省が2018年3月に発表した在留外国人統計の在留資格別において、2017年末現在、「留学」の資格で在留する者の数は31万1,505人となり、日本における留学生数が初めて30万人を突破した。さらに9月に発表された2018年6月末現在における在留外国人数（速報値）では、32万4,245人とさらに過去最高を更新している。

この数字は各教育機関の在籍留学生数を調査・発表するJASSOのものとは若干の隔たりがあるものの、2008年に政府が目標として掲げた「留学生30万人」という数字は、ほぼ達成したように見える。

この30万人達成に大きく貢献しているのは留学生のおよそ3割を占める日本語教育機関在籍者だ。そして彼らは留学生数の増加に寄与するだけでなく、日本の単純労働の現場をも支えていると言われている。ここ数年メディアで盛んに取り上げられているように、製造業やサービス業を中心に留学生と技能実習生なしでは、立ち行かなくなっている産業が増加している。そして正

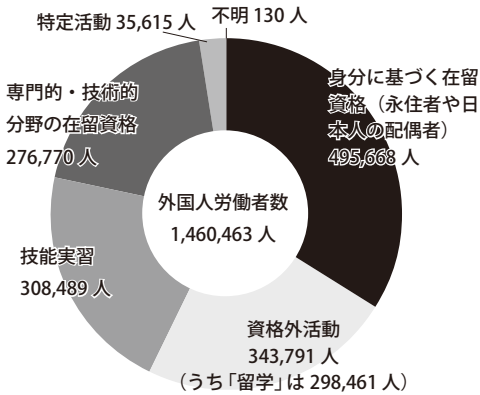


規の労働者ではない留学生や技能実習生への極度の依存は日本経済の暗部として、度々取り上げられるようになっていた。

入管法の改正を閣議決定

この深刻で喫緊の課題に対し、新たな外国人労働者を受け入れるための在留資格が新設されることになった。これまで外国人に与えられる就労資格は、高度な専門的知識や技術を持っている者に限定されてお

在留資格別労働者の割合
(平成30年10月末現在)



厚生労働省報道発表資料より

り、接客や組立、建設労働などのいわゆる単純労働や肉体労働での受入れは行われてこなかった。しかし今回の入管法改正では学歴や実務経験を問わず、こうした職種でも取得可能な「特定技能」という資格が追加された。

この特定技能には1号と2号の二種類があり、1号は人手不足が深刻な次の14の業種に適用される。

- ①介護業 ②ビルクリーニング業 ③素形材産業 ④産業機械製造業 ⑤電気・電子情報関連産業 ⑥建設業 ⑦造船・船用工業 ⑧自動車整備業 ⑨航空業 ⑩宿泊業 ⑪農業 ⑫漁業 ⑬飲食料品製造業 ⑭外食業

在留期間の上限は5年、家族の帯同は不可とし、資格取得には、技能実習2号(累計3年)を修了しているか、各分野所管行政機関(その産業を管轄する省庁)が用意する技能および日本語の試験に合格する必要がある。ただし、試験と同水準と認めら

れる資格等を既に保持するなど、当該技能水準を確認することができる場合は試験が免除される。

日本語については「ある程度の日常会話ができ、生活に支障がない程度の能力を有することを基本とし、各業務上必要な日本語能力水準」が求められるとされている。現在外務省(国際交流基金)が新たに作成する判定試験と既存の日本語能力試験が利用されるとの情報がある。なおレベルとしてはN4が目安になるのではとされている。

これらの判定試験は、原則国外で実施されることになっており、現在中国と東南アジア6か国、ネパール、モンゴルの計9か国で当面行うことが検討されているようだ。

「特定技能2号」は、「1号」の対象となる14業種のうち、5業種(建設業、造船・船用工業、自動車整備業、航空業、宿泊業)で認められる模様だが、まずは建設業と造船・船用工業の2業種で2021年から試験が開始される。こちらはさらに熟練した技能を有する者が対象となり、分野所管行政機関が定める試験により決定される。在留期限は1号とは異なり上限はなく、家族の帯同も可能とされる。

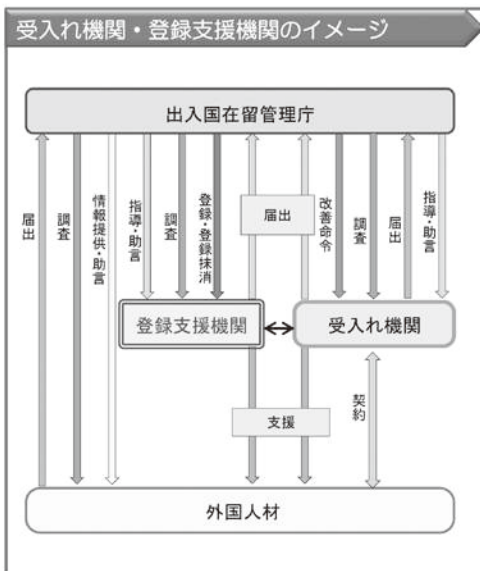
2019年度の想定受入れ規模は全業種を合わせて3万2,800～4万7,550人とされており、当初の5年間で26万2,700～34万5,150人の受入れが見込まれている。

特定技能所属機関と登録支援機関

これら特定技能の外国人の受入れは、新

たに創設される出入国在留管理庁（実質既存の入国管理局から昇格）管轄のもと、外国人を受入れる機関は特定技能所属機関と呼ばれ、外国人と直接雇用契約を結ぶことになる。外国人は複数の特定技能所属機関と契約を結ぶことは出来ないが、技能実習生とは異なり、転職をすることができる。

また、特定技能所属機関（受入れ機関）に代わって、外国人労働者の支援計画を作成・実施する登録支援機関も同時に設定される。支援機関には、支援態勢を備えた業界団体、民間企業、社労士等の幅広い実施体が想定されており、認可基準としては「適正な支援を行える能力・体制があること」に重点が置かれる。認可を受けた支援機関は、入国前のガイダンス、住居の確保、日本語習得支援ほか、様々な相談、情報提供業務を担当することになる。



法務省入国管理局資料より

特定活動の枠拡大を検討

新たな在留資格が設けられる一方で、いま日本で学ぶ留学生の就職機会拡大の施策も検討されているようだ。

現在、正規に就労が可能な在留資格（18種類）の取得には在学中の専門と就労しようとする分野の業務内容が合致することが求められている。例えば服飾デザインを学んだ学生が銀行の内定をもらっても、一般に就労資格の取得は難しいとされた。

そこで法務省は留学生、雇用主双方の機会損失を減らすため、現在の「特定活動」に“本邦大学卒業者”と“クールジャパン”を加えることを検討しているとのこと。「特定活動」は在留資格の一つで、どの在留資格にも当てはまらない活動に対して、「法務大臣が個々の外国人に対して特に活動を指定するもの」で、インターンシップやワーキングホリデー、卒業した留学生の継続就職活動等、およそ40種類の活動に適用されている。本邦大学卒業者が「特定活動」の一つとなれば、日本の大学を卒業した外国人は専門分野に関わらず希望する職に就ける可能性が出てくるわけだ。

一方クールジャパンは、人気のアニメやゲーム、漫画、日本料理関連業務に従事したいという外国人に在留資格を与え就業してもらうことで、国内の人材難に対応するだけでなく、海外における日本文化の発信・普及につなげようという狙いがあるようだ。

今年、留学生をはじめとした外国人の日本就職がどのような動きを見せるのか、注目していきたい。



高まる留学生の求人・求職需要。近年は母国や海外の大学を卒業して来日、日本語学校から就職へという留学生が増えるなど、様々な経歴を持つ若者が日本に活躍の場を求めて来日しています。もっとも世界でも有数の特殊な文化構造を持つ日本で活躍するにはそれなりの覚悟が必要なのも事実。先輩は日本での生活や仕事について、今、何を感じているのか。今回は2018年3月にABK 学館日本語学校を卒業し、ドキュメント制作会社に就職したマレーシアの廖（りゅう）さんにお話をうかがいます！

廖 伊敏 さん (Ms.Yimin LIEW) ～マレーシア

Universiti Malaysia Terengganu（マレーシア）卒、ABK 学館日本語学校卒、ドキュメント制作会社勤務

大学卒業後シンガポールで就職

—— マレーシアの大学では何を専攻していましたか？

私は海や船が好きでしたから、海洋科学を専攻しました。具体的には海やそこに関わる環境のこと全般で、資源や気候、海洋法のことなど、様々なことを学びました。調査で海に潜るので、ダイバーの資格も取りました。

—— マレーシアの大学はマレー人学生の入学が優先されると聞きましたが。

私立大学ではそういった規則はないのですが、国立大学の場合は政策で、マレー人の割合を高くすることになっています。私の大学は国立なので、クラスの学生約80人のうち約50人がマレー系、約20人が中華系、残り約10人がインド系などでした。

—— 就職でもそのような差別があるのでしょうか。



就職も公務員はマレー系が優先されますが、一般の企業ではそういったことはありません。英語も中国語もできて、いろんなスキルを持っている中華系は採用されやす

と思います。

—— 大学卒業後はシンガポールで働いたそうですね。

就職したのはシンガポールの大手電子通信企業で、“海”とは全く関係のない会社でした。私はそこでテクニカルサポートの仕事に就きました。シンガポールを選んだのは、外国で生活してみたかったからです。ただ、シンガポールはマレーシアのすぐ隣で、働いているマレーシア人も多いので、それほど「外国」を意識することはなかったですね。

仕事はもちろん、当初は海に関わる仕事を探したのですが、良い会社が見つからなかったのも、とりあえず1年間働いて貯金をしたら、また学校に入って興味のあることを勉強しようと思ったんです。それで、出来るけど1年以上は続けたくないだろうという仕事を選びました（笑）。

私はテクニカル系のことは好きですが、電話の対応などの接客は苦手だったので、ここで1年間がんばって、貯金はもちろん技術的なことを吸収して、すっきり辞めようと思ったんです。

—— マレーシアでの就活について教えてください。

マレーシアやシンガポールでは日本のように新卒を一斉に採用する習慣はなく、学生はみな学校を卒業した後、自分のペースで仕事を探します。

仕事はインターネットで探すのが今は一般的ですが、日本のように求職者のニーズに合わせた検索サイトはありません。また、

一般的ではない専門性の高い仕事の場合、サイトで見つけるのは難しく、私は直接興味のある会社にもメールをして自己アピールをしていました。メールを出しても9割くらいは返事がありませんでしたけど。

—— シンガポールは生活費が高い印象ですが、貯金は予定通りできましたか？

シンガポールは同じような仕事なら、マレーシアの3倍近い給料をもらえます。ただし生活費はたしかに高いです。私はファミリーが暮らす家の一室に下宿のような形で住んでいましたが、それでも家賃は500SGD（約42,000円）でした。ですから無駄遣いはせず、食事はホーカーズ（フードコート）のような安いところで食べるようにして1日10SGD（約840円）以内に抑えてました。それで一月1000SGD（約84,000円）くらいの貯金をしていました。

マルチリンガルゆえの可能性を信じて

—— 日本留学を考えたのはいつ頃ですか？

興味があったサウンドエンジニアリングの学校をシンガポールで見つけて、仕事を辞めたらそこで学ぼうと思っていたのですが、仕事の契約が切れる2か月前にその学校が閉校になることを知ったんです。それで、目標をそれまでも考えたことがあった日本留学に切り替えたんですね。日本なら勉強しながらアルバイトができますから、まずは日本語学校に入って、日本で就職できたらいいなと思いました。

—— 日本語を勉強したことがあったのですか？

高校を卒業してから大学に入学するまでの期間が半年ほどあったのですが、その時日本語を学びました。きっかけは、仲の良い幼なじみが日本に留学するために日本語学校に行き始めたことで、私も彼女について一緒に学校に通いました。その後大学に入ってから、少しずつ漫画を読んだり、日本のゲームやったりして、日本語力がついていったという感じです。

—— 日本で就職出来る自信はありましたか？

大学の時に Google で調べものをしていて気付いたのですが、多くの日本人は日本語しか使いませんから、翻訳がない限り外の言語による情報を知る機会は少ないのではないかと思ったんですね。例えば同じ言葉を日本語と英語で検索してみると、異なる検索結果が出てくることがあります。ポイントがずれていたり、日本人に都合の悪いことは書いていなかったり、そもそも日本語では情報が見つからないものもありました。つまり日本語だけでは偏った情報しか得られない。だから多言語ができる人材が必要で、もし私が日本へ行ったら、自分の語学のスキルを活かした仕事ができるのではないかと思ったんです。

—— 日本では日本語学校に通いながらアルバイトをしたんですね。

両親からの援助にはできるだけ頼りたくなかったので、学費や生活費は自分で賄おうとがんばりました。シンガポールで貯め

たお金は全て学費と寮の入館料、最初の一月分の部屋代で消えてしまいましたから、その後の生活費はアルバイトで賄いました。

—— アルバイトは経済面以外でも役立ちましたか？

アルバイトは日本語の会話と簡単な敬語の練習になったので、とても役に立ちました。牛どん屋さんでアルバイトをしていた時は、業務に関わる手順書をいろいろと読んだのですが、その業務用のマニュアルも今の会社で作っていたんです。知ったときは驚きました（笑）。

就活と会社の選び方

—— では、就活について教えてください。どのように活動しましたか。

学校から求人情報を紹介してもらったり、インターネットの就職情報サイトを利用しました。具体的には、私は職歴があるので、「リクナビネクスト」という転職者向けのサイトを使いました。新卒者向けサイトだと競争が激しいのと、求人条件も「やる気」「熱意」といった抽象的な言葉が並んで、難しいなあと感じていたので、自分のスキルを生かせる会社をピンポイントで探せる転職者向け情報サイトが役立ちました。

—— 具体的に、どのようなキーワードで探したのでしょうか。

キーワードは「語学力を生かせる」でした。そして出てきた会社から本当に興味がある会社に絞って応募をしました。今の会社はテクニカル系の文章を作る会社ですが、

翻訳という部分だと、他に映画や小説などの表現力を必要とする分野と、アカデミックの分野などがあります。私は技術的なことが好きだったので、ここがいいかなと思ったんです。そのほか求める人物像に「好奇心がある人」と書いてあったのも目に留まりました。私は好奇心がある人は飽きやすい人で、あまり良いことだとは思っていませんでしたので、初めは「え？」と思ったのですが、私自身好奇心はかなりあるほうでしたから、応募のきっかけになりました。

——— 今はどのような仕事をしているのでしょうか。

メーカーの商品の取扱説明書の編集や、そのための英文を作ることです。私は主に日本では販売されない、海外仕様の製品を担当していて、その商品の取扱説明書が出来上がるまでの色々なことをやっています。

具体的にはお客さんから依頼が入るとチームリーダーが担当者を決めます。そして担当者はお客さんとの窓口になって、スペックシートやプレゼン資料、お客さんの話などを参考に編集作業を進めて行きます。その過程で、各国語の翻訳者やイラストレーターに仕事を発注するのですが、そういった流れは担当者の裁量に任されています。

——— そうした仕事の内容は入社前からわかっていたいましたか？

いいえ。最初は翻訳の仕事だと思っていたのですが、結局翻訳の作業はしてないですね（笑）。

——— お仕事は面白いですか？

いろいろなことをやれるのは面白いです

し、翻訳と違って自分で文章を考えて作れるのは楽しいです。どう作業を進めて行くか、その判断を自分で出来るというのはやり甲斐がありますね。

課題は日本語力

——— では大変だと感じるのはどんなところですか？

これは仕方がないのですが、経験が足りないということですね。特に新しい機種（商品）を扱う時は難しいです。過去の似た商品を参考にこの機能はもう無くなった、この機能が追加されたという情報をお客さんから得ながら書いていくのですが、慎重に確認をして進めていかないと、過去の機種との機能差を見落としてしまって、大変なことになってしまいます。

そしてやはり大変なのは日本語です。会議とか研修などでは6割くらいしか聞き取れません。人によっては話を切らず、接続詞をどんどん重ねて話すので、聞くだけで精一杯で、結局何を話したのかわからないということがあります。会議の場合は終わってから他の人に聞けますが、研修の時は困りますね。

実は最近何回か出席した研修では、一回目その研修の目的がよくわかりませんでした。だから宿題をやっても、先生が求めるものにはなっていない。それで何度もやり直しになりました（笑）。求められているのがわからないので、出来あがった宿題の答えが微妙にずれているんですね。

それは日本語の問題で、一つ一つの単語の意味はわかって、全体で先生が何を言いたかったのかが理解できない。3回目の研修が終わって、やっとわかったという感じです。

—— 廖さんの日本語はかなりのレベルと感じますが、そうした問題があるんですね。では同僚との人間関係はいかがですか？

私のチームは30人ほどのスタッフで、外国人は私とイラストレーターのフィリピン人だけなのですが、人間関係で問題を感じたことはありません。ただ、日本人のように空気を読むのは難しいなあと感じることはあります。

例えば新入社員の交流会に参加した時ですが、みんな初めてのはずなのに、まるで何をすべきか、どう行動すべきか、指示されているかのように動くんです。自分だけが何をしたいかわからない。自分だけ事前にメモをもらってなかったのかなあと疑ってしまいます（笑）。

—— 職場以外で、ほかのスタッフとの交流はありますか？

仕事以外での付き合いは、あまりありません。会社は裁量労働制なので、勤務時間が決まっていないます。ですから、仕事が早く終わった人は早く帰りますし、そうでない人は遅くまで働いているという感じです。

—— 無駄に会社にいる必要がないわけですね。

そこは気に入っているのですが、逆に仕事が多くて一人で焦ってしまうと事故に繋

がることがあります。ですから、仕事量が多くて大変だという時は、すぐチームリーダーに相談して、仕事を分散してもらうようにしています。一人で抱え込まず、すぐに相談することは大事ですね。

—— 有給休暇（有休）などはきちんと取れますか？

仕事が少ない時はどんどん有休をとりなさいという会社なので、問題はないのですが、自分が必要とする時期に長期で休めるかという、難しいですね。私は旧正月の時期に帰国したいのですが、プロジェクトが入っていると長期では休めません。今の会社で残念なのはそれくらいですね。

東京での生活とこれから

—— 東京での生活はどうですか？

あまり難しいことはありません。東京は便利ですしシンガポールに比べて緑も多く、環境も良いと思います。ただ、男女の差別が多くて、そこはストレスに感じるところです。以前アルバイトの募集で興味があった舞台音響会社の説明会に行ったことがあるのですが、説明会場では男女が分けられていて、男性は舞台装置や音響の仕事ができるのに、女性は案内と販売の仕事だけしかできなくて、イライラしてしまいました（笑）。また、レディースデイとか、女性専用車両とか、男女を差別するサービスはすごく嫌です。男女平等に扱って欲しい。日本人の女性はそんなにか弱いのかなあと感じてしまいます。

—— 日本人はあまり意識していないところかもしれません。性別によるサービスの差自体が男女差別と言えるわけですね。

ではこれからやってみたいこと、なりたい自分について教えてください。

仕事に関係しますが、DTP (Desktop Publishing) * の勉強がしたいです。今の仕事に興味を持っていますので、もっといろいろなことが出来るようになりたいと思っています。それから写真を撮ることをまた始めたいと思っています。学生時代は学校の行事や研究記録などをずっと撮ってきたのですが、卒業後は撮る理由がなくなって、なんとなく止めてしまいました。でも「あ、いい写真が撮れそう!」と思った時、手にカメラがないとちょっと虚しく感じる自分に気付いて、やっぱり私は写真が好きなんだと思いました。

これからの自分について、具体的なイメージはありませんが、自分が納得できる自分になりたい。後悔のないように生きたいと思っています。

—— 最後に日本での就活について、後輩の皆さんにアドバイスをお願いします。

日本は求人サイトやジョブフェアの利用だけでも就職できてしまうので、仕事探しは本当に便利です。でも履歴書の書き方や自己PRの仕方などは日本独特のものが求められますから、そこは学校のスタッフや先生にどんどん聞いてしっかりサポートし



日本語学校の卒業式で同期生と

てもらった方が良いですね。

就活では自分の強みと弱み、出来ることと出来ないことをしっかり知っておくことが必要です。そして自分の興味やスキルに少しでも関連のある会社を選ぶことが大切だと思います。想像してみて、1年続くか自信がないような仕事なら、止めたほうがいいと思います。

私は興味の幅が広く、やってみたいことも多かったので、就活も広い目を持って出来たと思います。もし興味や関心のあることがはっきりしなければ、その会社に入って自分が望む生活が出来るかを考えてみる。自分にとって一番大切なのはお金なのか、生活スタイルなのか、環境なのか…。とりあえず日本で働きたいのなら、そういった方向から考えてもいいのではないのでしょうか。

—— 今のお仕事にやりがいを持って取組まれている様子がうかがえました。これからのさらなる飛躍を期待しています。

(※) DTP … PCを使った出版物作成。レイアウトなどの誌面作り



けとり過ぎなのではないかと感じる時はあります。

日本人はいつも優しいです。友達もたくさんいるのですが、本当の親友だと感じる人にはまだ出会っていません。ベトナムでは友人といえば、どこにでも一緒に行く、シャワーも一緒に浴びる、そして自分のことを相手に何でも話します。でも日本人はあまり自分のプライベートなことを家族のことなどは話してくれません。

ご飯は一緒に食べに行くのですが、家に遊びに行つて泊まるとか、そんなことはないですね。もしかすると日本人は遠慮し過ぎ、勝手に相手の都合など、いろいろなことを考え過ぎるのかなと思います。だからそこは寂しいと感じるところです。

私はもっと親しくなりたいので、もっとオープンにしてください。もっとなんでも話して欲しいなあと思います。

そういえば、日本では自殺が多いですね。それはあまり人に話さず自分の中のため込んでしまうからなのではないでしょうか。

ベトナム人の働き方は、ある仕事の完成までに10のステップがあっても、不要だと思うところは臨機応変にスキップして、7にしてしまおうとか、平行して2つのステップを同時にこなすなどとして、仕事を早く終わらせようとしています。一方で日本人は真面目ですから、一つ一つ丁寧に確実にやっています。それが日本製品の品質の高さにつながっているのだと思いますが、やっぱり効率が悪いなあと思う

時はありますね。同じものを作れるのなら、省けるところはどんどん省いたほうがいいのではないかと思います。

ですからベトナム人はめったに残業をしません。そしてリラックスする時の楽しみ方も徹底しています。忘年会や新年会などではみんなが歌を歌ったり踊ったり、お互いがパフォーマンスをして心から楽しみます。私は日本でも忘年会などのイベントに参加しますが、何かみんながこちないというか、大人しくてつまらないなあと思います。

私の研究は水環境についてですが、データを導き出すための計算式やシミュレーションの作り方など、様々なことを学びました。また先生と企業とのプロジェクトに参加させていただいたおかげで、企業の考え方や開発までの流れがわかるなど、研究以外の貴重な経験を積むこともできました。もちろん日本語もそのうちの一つで、日本語が話せるのはとても楽しいですし、日本人と過ごすことが自分の成長に繋がっていると感じます。

ベトナムでは日本の商品はとても人気があります。それは何でもだろうとずっと思っていたのですが、日本人がとても真面目で努力家だからだとわかりました。日本人の真面目さにはたまに疑問を感じますが、でも大部分、尊敬をしています。

だからこれからの人生、どこに暮らしても日本語を使って日本や日本人と関わる人生を送って行きたい。

でも最終的には良いお母さんになること。一人の女性としてはそれが一番の目標ですね(笑)。



真面目すぎる日本人と思ふふふ

グエンティカンホア (Ms. NGUYEN THI KHANH HOA) ベトナム

中央大学 理工学研究科 都市人間環境学専攻 博士前期課程

私の研究は水資源に関することで、ベトナムの水資源大学と呼ばれる国立トウイロイ大学を卒業して日本に来ました。研究では川の氾濫モデルを作っていて、例えばこのエリアに台風がきたら川やダムはどのように氾濫するのか。そのシミュレーション映像を作ったり、ハザードマップを作っています。ですから台風が来た時、みなさんは家から出ないと思います。私たちは実際に河川敷に出かけて、データをとるために観測します。

ベトナムでも、日本と同様データを集めるのですが、実際に川に行くのはアルバイトの人たちで、私たち研究者は彼らが集めたデータを利用するのが普通でした。だから日本に来たばかりの時は大変な所に来てしまったかなと思いました。そして、日本人は本当に真面目なんだなあと感じました。

ただその後何度も現場に出たことで、雨の量と水位の変化が予想できるように、先生が言う通り、現場で起きることを自分の目で追いながらデータを集めるということが、研究者にとつていかに大切なことなのか、実感しました。

もっとも日本人の真面目過ぎる部分には時々どうなのかなと思う時もあります。例えば私が国や家族の行事などで帰国したいと思った時、同じ研究をしているチームの仲間は「2日、3日ならいいけ



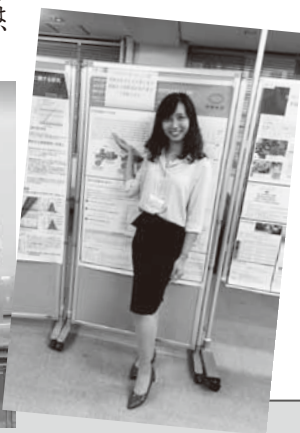
ど、1週間はダメ」と言います。もちろん自分が抜けて迷惑をかけるような忙しい時は別ですが、そうでない時でもみんな毎日休まず研究室に出てきています。

ある人は朝9時に来て、夜10時まで研究室にいます。その間ずっと研究に集中しているわけはありません。そ

して上の方が遅くまでいるときは、その方が帰るまでみな帰りません。

何か会社のようにずっと決まった時間研究室にいないといけないというのは、大学院生なのに効率が悪いなあと感じます。

先生は社会人になった時に困らないように、そういう習慣をつけたほうが良いと言います。それはわかっていますが、やっぱり私たちは大学院生です。もっと自由であつてよいのではと思えますし、全てを真面目に受



地球環境シンポジウムで発表したポスターがポスターセッション賞を受賞

アジアセミナー韓国語講師 山下透先生 韓国アナウンサー大賞受賞

2018年12月28日(金)、韓国ソウル特別市のチョースンホテルのグランドボールルームで韓国アナウンサー連合会の「2018 アナウンサー大賞授賞式」が開かれ、当協会アジアセミナー室韓国語講師で、アジア放送研究会会長の山下透さんが、張基範(チャン・ギボム)賞を受賞しました。この賞は標準韓国語の普及や研究に尽力した人などに贈られるもので、外国人が選ばれるのは初めてだということです。

山下先生はKBS 国際放送日本語放送の韓国語講座で韓国語の学習を始めて45年、NHK 国際放送「ラジオ日本」朝鮮語放送に出演するようになって30年、標準韓国語の実力が認められ、日本にて韓国語の学校教育をするようになって15年という節目に、KBS アナウンサー協会の推薦により、2018年、この賞を受賞することになりました。

張基範賞は、韓国の放送発展期に活躍した故・張基範アナウンサーの功績をたたえ、国民的アナウンサーだった李季振(イ・ゲジン)氏が国会議員時代に拠出した基金によって設けられたものです。李季振氏もKBS アナウンサー時代、山下先生に対して標準韓国語について多くの指導をしたアナウンサーの一人で、かつて「スポーツ朝鮮」の自身のコラムに「標準韓国語を駆使



2018 アナウンサー大賞授賞式で李季振氏からトロフィーや副賞などを授与される山下透先生

する日本人」として山下先生を紹介したことがあります。そうした経緯から、李氏は「受賞者の名前に山下透とあったので驚いた」と語っていました。

授賞式で山下先生は「私をこの賞に推薦してくださった関係者の皆さん、私に直接、標準韓国語を指導してくださったアナウン

サーの皆さん、そして放送を通じて私に綺麗な韓国語を聞かせてくださった韓国の全てのアナウンサーの皆さんに深く感謝します」と述べました。

山下先生、おめでとうございます！

※ アジア放送研究会発表資料に加筆しました。

やましたとおる

山下透先生 略歴

- 1961.01 日本大阪生まれ
- 1973.09 KBS 国際放送（日本語放送）韓国語講座で独学を始める（12歳）
- 1976.03 月刊誌『ラジオの製作』に「中級 BCL のための語学講座 - 韓国語放送を聞いてみよう」執筆
- 1979.04 天理大学入学、韓国語専攻
- 1979.04 初の韓国旅行、KBS 国際放送局初訪問（18歳）
- 1980.11 株式会社日本旅行で初めての通訳
- 1980.12 KBS アナウンサー室初めての訪問
- 1983.04 株式会社東急観光入社、その年から段階的に自由化された韓国人の海外旅行を主に担当（2014年退職）
- 1986.12 韓国語通訳案内士国家試験合格（2期目）
- 1987.10 NHK 国際放送韓国語放送アナウンサーオーディション合格
- 1988.04 NHK 国際放送「土曜応接室」にレギュラー出演
- 1995.04 NHK 国際放送「やさしい日本語（中級）」講師
- 2001.04 有線放送 USEN440「ABK ハングル広場」講師
- 2002.06 雑誌『韓国語ジャーナル』（アルク）付録 CD で "Voice of KJ" DJ 始める
- 2003.04 アジア学生文化協会（ABK）アジアセミナー韓国語講師
- 2004.04 亜細亜大学韓国語非常勤講師
- 2008.08 アルク『KBS の韓国語 ラジオドラマ』翻訳出版
- 2011.03 アルク『KBS の韓国語 ラジオドラマ愛情編』翻訳出版



2003年からアジアセミナー韓国語講師として活躍する山下先生。授業中の一コマ

中国・周而復著『長城万里図』全6巻 375万字から成る現代政治歴史小説 延べ134名に上る翻訳者と22年の歳月を費やし 翻訳出版（2017年6月）完了

昨年11月24日に日中学院で開催された2018年度日中学院・倉石賞^(*)の授賞式に参加して、今回の受賞者「日中二十一世紀翻訳会・周而復『長城万里図』（全六巻）刊行会 伊井健一郎」の伊井先生の志の高さとそのスケールの大きい仕事に接し、大変感銘を受け、ここに著書並びに全6巻の翻訳（日本語訳）と刊行完了に至る経緯等のご紹介をさせていただきたい。（編集部）

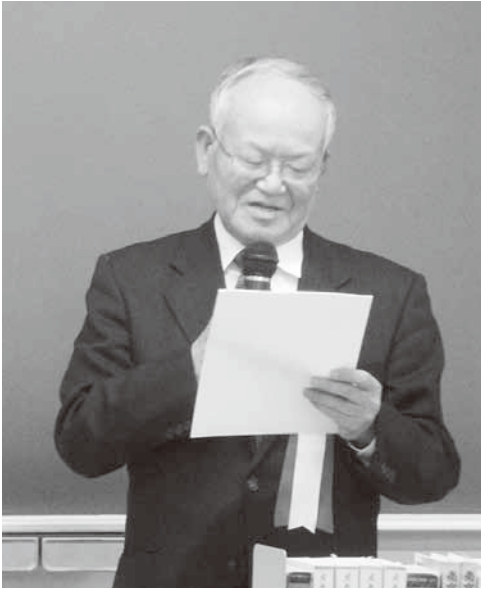
日中学院・倉石賞は1989年に開始されてから2018年度で第21回目となります。2018年の受賞者は「日中二十一世紀翻訳会 中国・周而復『長城万里図』（全六巻）刊行会 伊井健一郎」に送られました。

この翻訳・刊行の原本は、中国の周而復著『長城万里図』（六巻）であり、この『長城万里図』は中国版「戦争と平和」とも言われている大長編作。第1巻「南京陥落・平和への祈り」、第2巻「長江－正義と勇気の大海へ」、第3巻「逆流と暗流」、第4巻「太平洋の夜明け」、第5巻「黎明」、第6巻「霧の重慶」から成り、全375万字に上る現代政治歴史小説で、1937年の盧溝橋事件⁽²⁾前後から、1945年8月日本が降伏したのち国共重慶会談⁽³⁾に出席するため毛沢東が重慶に到着

した場面までが描かれている。

著者の周而復（本名は周祖式）は1914年南京に生れ、1938年上海光華大学英文学部を卒業、抗日活動中に毛沢東や蒋介石らとも面識があったようで解放後は外交活動に従事し、文化部副部長などを歴任し、来日もしている。2004年1月90歳で逝去。代表作には『医師ベチューン』、『上海の朝』などがある。





伊井健一郎先生（授賞式で）

『『長城万里図』は抗日戦争を主軸に、毛沢東、蒋介石他様々な指導的人物の活動を多面的に描き、共産党のみならず国民党の人物も詳細に描かれている。・・・そこには歴史の真実を追求する作者の心情が吐露されている』、「作品は、第2次世界大戦を背景にして、8年にわたる中国人民の抗日戦争を全面的に描写した政治歴史小説。」（『長城万里図』の第1巻「南京陥落・平和への祈り」が5年の歳月をかけ日中二十一世紀翻訳会によって翻訳され2000年に出版された時に翻訳に携わってこられた山田留里子先生（現、関東学院大学教授；『長城万里図』の翻訳・刊行には最初から最後まで伊井先生と伴に携わられたお一人。）の著書の推薦文の一部より引用）

この度倉石賞を受賞された伊井健一郎氏（現、姫路獨協大学名誉教授）が『長城万里

図』を最初に手にしたのは北京大学で在外研究をしていた1993年、『長城万里図』に出会い日本語への翻訳の使命感を抱き、そして著者の周而復先生と初めて会ったのが1994年9月。そして、周先生から「全六巻を必ず全て翻訳すること」を条件に『長城万里図』の翻訳出版許可を得ることになる。帰国後、賛同者を募り「日中二十一世紀翻訳会」を立ち上げ、また中国文学、現代中国研究の第一人者の竹内実先生（当時、京都大学名誉教授）に監修をお願いし、「日中二十一世紀翻訳会」が翻訳活動を開始したのが1995年である。次に、1996年に翻訳出版活動が続けるために「周而復『長城万里図』（全六巻）刊行会」を組織し、寄付集めを行うと同時に出版先を探す。

2000年2月に第1巻の『南京陥落・平和への祈り』の上巻が（株）晃洋書房から翻訳出版。そして、最後の第6巻『霧の重慶』の下巻が2017年6月（株）教育評論社から出版され、『長城万里図』全6巻（日本語版は13冊、500万字以上に上る）は、企画から翻訳出版完了までに実に22年の歳月が費やされた。その過程では著者の周而復先生、監修に尽力された竹内実先生（日本語版の13冊の内11冊の監修を行う）はじめ翻訳・出版に協力されてきた方々の数名は鬼籍に入られている。元来商業出版としては成り立たないと思われた本書の翻訳・出版事業が完成したのは、「日中関係の現代史をしっかり認識しよう」という信念に基づいて翻訳作業に協力された延べ134名に及ぶ翻訳者の方々と最初から最後まで企画・推進を貫かれた伊井健一郎先生の熱意と献身的な努力に大きく依拠している。正しい歴史認

識を学び伝えること、そして平和を希求することへの情熱と著者との約束に導かれ、このような膨大な翻訳の仕事が多く、翻訳者の協力により遂に完成、完了させた功績は計り知れないものがある。この間には様々な困難が横たわっていたことは想像に難くない。

日中国交正常化45周年を迎えた2017年に本書の最終巻が刊行され、また2018年の日中平和友好条約締結40周年の年に日中学院・倉石賞を受賞されたことは、日中関係も正常化に向かいつつある昨今、今後の日中の相互理解を更に深め、両国の共存共栄と平和を希求する上でも大変意義深いことである。

日本語訳の刊行本は全13冊に上るが、中国語の読めない多くの日本人にとってこうした本が読めることは朗報である。できるだけ多くの人に読まれることを願ってここに紹介させていただく。

なお、本書は国立国会図書館、アジアセンター21(大阪)、長崎市立図書館、東京大学図書館、神戸市外国語大学図書館などで閲覧できるとのこと。(文責:布施)

(※1) 日中学院・倉石賞: 日中学院は、1951年に倉石武四郎先生が創設した「倉石中国語講習会」に遡る。以後1972年の国交回復までの21年余、中国語講習を通じて日中友好を目的とする人材育成と日中学院の基礎づくりをおこない1964年に設立する。爾来、学院で中国語を学んだ人は、数万人に上り、日中交流の様々な場で活躍する多くの人材を輩出している。1985年からは日中友好会館の事業として付設されている。倉石先生没(1975年)後、ご遺族よりのご寄付



第一巻『南京陥落・平和への祈り(上)』

をもとに、1989年の学院創立38周年、倉石先生没後15周年を記念して、その利息及び学院からの資金も加え「倉石武四郎先生記念基金」を設け倉石賞が発足。以来、2018年までに中国語教育、日中相互理解、日中交流事業等を推進し日中友好に貢献されてきた31の個人、団体へ授賞してきた。

(倉石武四郎 1897年生れ。1939.4 京都帝国大学教授、1940.4 東京帝国大学教授、1946.10 中国語研究会会長、1951.4 倉石中国語講習会創設、1954.7 (財)善隣学生会館理事、1958.5 東京大学名誉教授、1964.4 日中学院創立、1975.11 永眠)

(伊井健一郎 1940年生れ。中国通信社、日中経済貿易センター等勤務後、徳山大学助教授、姫路獨協大学教授。専門は中国語学。現姫路獨協大学名誉教授。)

(※2) 盧溝橋事件は、1937年7月7日に北京西南方向の盧溝橋で起きた日本軍と中国国民革命軍第二十九軍との衝突事件である。中国では一般的に七七事変と呼ばれる。

(※3) 国共重慶会談は、1945年8月28日から、第2次世界大戦終了後の中国政局の収拾と国共関係の調整とを目的として、アメリカのP.J.ハーレー大使の仲介のもとに重慶で行われた蒋介石と毛沢東との会談。

バンコクの泰日工業大学で活躍するスタッフ&先生によるリレーエッセイ

泰日工業大学 (TNI) 奮闘記

水谷光一

③〇

TNI 国際プログラム留学体験

ー長崎大学工学部土木工学科 浦 和幸君のケースー

長崎大学とは MOU（大学間交流協定）があり、2018 年 8 月から工学部・土木工学科 4 年生浦和幸（うら かずゆき）君が半年間（2 月末まで）TNI の情報技術学部の国際プログラム データサイエンス・解析学コース（DSA）に短期留学している。今回浦君に留学についての経緯、感想を聞いてみた。

（以下浦君の話）……………

私は高校の時から好きな英語を生かして活動する機会がないかを考えていました。そして長崎大学に進学し、3 年生のときに松島大介先生（元経済産業省勤務、タイ政府にアドバイザーとして出向経験有）と出会い、先生が関わっていた「長崎ブレークスループロジェクト」のマネージャーをしていました。これは長崎県の企業の海外進出、長崎県産品の海外への紹介のお手伝いで、3 年生のときはインド、タイに留学する同級生をマネージャーの立場で見送りましたが、4 年生になったら自分でも手を挙げてぜひ留学したいと考えていました。

そして先生の紹介で文部科学省の「ト

ビタテ！留学ジャパン」を知り、その奨学金を得てこの希望は実現しました。留学先には迷わずタイの TNI を選びました。

タイに到着後、迎えに来てくれる TNI の児崎さん（国際交流部）に連絡をすることになっていたのですが、自分の携帯電話は使えず、公衆電話の使い方もわかりませんでした。どう連絡すればいいのかわかり果てていたところ、通りかかった人が携帯電話を貸してくれて、無事連絡を取ることが出来ました。これ以降、何度もタイ人の優しさにはお世話になっています。

翌日、TNI の指定寮になっている P.S



国際プログラム新棟の玄関で

Apartment から TNI まで自力で通学しましたが、運河沿いの小路からワニが悠々と泳いでいるのが見えて、異国に来たんだと実感しました。(著者:実際はオオトカゲ)

DSA のクラスメートは7人で、日本人は3人、TNI 優秀学生奨学金をもらっているブータンからの学生が1人、あとはタイ人学生で、みな英語が上手です。長崎大では土木を勉強して来ましたが、DSA を留学先に決めて本当に良かったと思っています。DSA はタイで初めてビックデータの解析を行ったことで有名ですが、データ解析はどんな仕事でも必要だからです。担任はフェルデン先生というインド系の先生で、ほかに米国での生活が長いタイ人の先生の指導も受けていました。授業は全て英語ですが、長崎大では留学生とともに English Program を受講していたので英語で困ることはありません。

食事について、朝・昼は TNI の学食で食べていますが、メニューが豊富で美味しい上に、安いので助かっています。午後は授業がないので、通常学部の学生と交流したり、寮に帰って研究レポートを作ったりしています。タイ人との交流はお互いカタコトの英語でだんだんとコミュニケーションが取れるようになり、タイ語がわかるようになるに連れて世界が広がりだし、自信がついて来ました。

また、バンコクにいただけではなく、何度かチェンマイにも行きました。長崎県内



DSA で授業を受ける浦君（手前）

の企業がチェンマイの環境問題を改善する目的で、チェンマイ大学の先生と協力して日本製の消防車を輸出するプロジェクトを進めていて、そのお手伝いをしたからです。そのほか、バンコク・スクムビット通りのトンロー日本村で行われた日本の物産展イベントでは、長崎カステラの試食販売会で大声を上げて宣伝をさせてもらいました。これら国際支援プロジェクトや自治体の海外活動への参加は、とても貴重な経験でした。

2月末には留学期間が終わりますが、本当にタイに来て良かった。長崎大ではすでに卒業単位は全て取れていて、何のための TNI 留学か、理解できない人もいたようですが、まずはこのまま就職に突き進むのではなく、立ち止まって自分を見つめなおしたかった。TNI で勉強することでタイ人はもちろん、様々な国籍の先生や学生と出会え、いろいろな価値観を学ぶことが出来ました。タイ人の柔軟な考え方には時に驚き、

時に戸惑いを感じましたが、ある意味で日本人ももっとこのような柔軟な態度を身に付けるべきだと思いました。日本は何でもまず決まっていってルール優先。全て決めた通りに実行しようとし過ぎて、タイ人の柔軟性をもっと見習うべきだと思います。

私の後に続く後輩、タイ留学を考えている諸君に言いたいのは、誰とでも積極的に付き合っているいろいろな価値観、文化に触れるべきだと思います。日本の大学はゼミがあるので、自然と同級生、先生と仲良くなりますが、タイは授業がベースですので、積極的に同級生や先生、事務の人たちと交流しないと関係が深まりません。それには英語能力だけでなくタイ語の修得も大切です。

実はタイ留学が決まった後、ビザ取得のための交通費や旅費などで用意した留学資金＝十数万円はあっという間に無くなってしまい、タイ到着時の所持金は3万円しかありませんでした。タイは物価が安く、また私はTNIをベースに生活していたため、奨学金が支給されるまでの間、その3万円で何とか乗り切りましたが、留学を考えている諸君は必ずデビットカードか、クレジットカードを作ってくることをお勧めします。

私のTNIでの留学生活は残り1ヶ月です



お気に入りの学食でメニューを眺める

が、今まで以上に充実したものになりたいと思っています。

浦君はTNIとして初めて英語をベースとした「国際プログラム」の短期留学生であり、長崎大学からの初の留学生でもある。TNIではこの後も国際プログラムの正規生とともに、短期留学制度も整えていきたいと考えている。もし読者で興味がある方がいれば下記URLからコンタクトしていただきたい。TNIは親日の学生で溢れている。留学の環境としては最高ではないかと思う。

TNIから「国際プログラム」のご案内 <http://inter.tni.ac.th/>

タイで親日的なタイ人・外国籍学生と一緒に勉強できる貴重な人生でのチャンスです。
ご興味ある方は上記サイトからコンタクトしてください！

水谷光一(みずたにこういち) TNI学長室専任講師。1988年渡タイ。90年からTPA日本語教師。96年からTPA広報課長。2007年より現職。著書に『バンコクバス物語』(めこん)

新星学寮建替え募金

2018年12月31日現在 33,892,520円



募金期間：2017年12月～2019年3月

< 2018/11/1～12/31 寄付者 >

秋庭一衛、大島京子、小木曾建、工藤博司、高木紀子、新田宜子、野本明裕

寄付者：計205名

(あ) 秋庭一衛、厚見利子、新井かよ子、新井良文、安藤哲夫、安藤法夫 (い) 家田文隆、池森亨介、石川清、市村幸男、伊藤順、伊藤源之、稲垣史、井上駿、今西淳子、岩井秀明、岩井秀生、岩尾明 (う) 上野長一、内田誠、宇戸清治 (え) 江口義弘 (お) 大木隆二、大越英男、大島京子、大杉立、大田原康彦・真澄、大野大平、大益牧雄、小川巖・サヨ子、小木曾建、小木曾友、奥山節子、小倉美恵子、小田中聡樹、小野澤史、小野ちず子、小野寺武雄 (か) 加瀬勝子、勝部純基、加藤福和 (Đinh Văn Phước)、金子新平、金田和子、鹿野快男・博子、川上剛、川口善行、川崎依邦 (き) 菊地満寿美、城戸康通 (く) Nguyễn An Trung、Nguyễn đức Hòa、Nguyễn Ngọc Duyên、Nguyễn Hồng Quân、Nguyễn Thái、Nguyễn Tiến Quang、Nguyễn Văn Ân/Đỗ Văn Dũng、Quách Đình Huân、工藤博司、工藤(萩野)正司、工藤幹雄、久保哲也、熊沢敏一、倉内憲孝、栗原静子 (け) 計宇生・孟令樺 (こ) Ngô Diêu Kề、許鴻輝 (Koh Hwee Hong)、河野真、高乗澤/姜英園、五島文雄、小林正治、小林孝信、小宮信介、小山芳江、是澤優、近藤恵子、近藤壮一、近藤昇 (さ) 斉藤泰生、三枝辰男、榑正義・正子、笹村出、佐藤正文、佐藤亮一・説子 (し) 重田誠一、清水国夫、清水勇治、徐世傑 (Chee Sze Keat)、尚捷 (Shang Jie)、白石勝己、代田泰彦、新宅光 (す) 杉浦貴和子、杉浦正健、杉浦義昌、鈴木智、鈴木典之、須藤妙子 (せ) 関川弘司、関谷操男 (た) Đào Hữu Dũng、田井良知、田井亮吉、ダオ・チ・ミン (Đào Thị Minh)/ト・ブー・ルーン (Tô Bửu Lương)、高木紀子、高橋作太郎、高橋滋、高野靖子、竹治智、田中克江、檀良 (Đặng Lương Mô) (つ) 佃吉一、土屋元子、鶴尾能子、鶴園裕 (て) テイ・メン・フェイ (Tay Meng Fei) (と) Dương Văn Quả、Trần Thanh Việt、Trương Văn Tân、Trần Văn Thọ/Tuyết Minh、Trần Việt Hùng、(一社) 東京華僑総会、外山経子、寅野滋 (な) 中島明彦、中島純司、永井和子、永井ひろみ、中曽根信・不二、中野正明、中畠正喜、中原和夫、永山寿子 (に) 西岡佐代子、西川恵、新田宜子 (の) 野田春美、野本明裕 (は) 萩原伊助、浜崎永壽、濱屋悦次、林均 (ひ) 氷高律子、平峯克、広江重徳 (ふ) Phạm Vũ Thịnh、Phan Văn Ngân、Vũ Mạnh Huỳnh、Vũ Tất Thắng/Vũ Thị Tuyết、Huỳnh Mùi、符祝慧、福壤二、福井弘之、福本一、藤原一枝、布施知子 (へ) ヘン・フ・チョン (Heng Fu Chong) (ほ) 穂積亮次、堀香奈美 (ま) Mai Văn Hào、馬杉栄一、松岡弘、松原許子、松本國男、眞山静子、真弓忠 (み) 水田誠、湊勝昭、三代沢史子 (む) 村田進、村山富市 (も) 本村博志、森尾正照 (や) 安川隆子、柳瀬修三、山川民子、山口憲明、山田真美子、山田守一、山本章治 (よ) 米田康三、米長泰、米満良暢 (り) Liên Hoa、劉錫江、林登居・ヒサ子 (れ) Lê Bá Phúc、Lê Ngọc Thảo、Lê Văn Hiền、Lê Văn Tâm、匿名希望1名 以上



奨学金情報

※ 奨学金情報は Japan Study Support のホームページよりご覧いただけます (<http://www.jpss.jp/ja/>)

公益財団法人 似鳥国際奨学財団 外国人留学生対象奨学金

対象：①日本以外の国籍を有する者。②2019年9月以降の在留資格は『留学』で、日本国内で住所を有する者（居住予定を含む）③2019年9月時点で、日本国内の大学1～4年、または日本国内の大学院1・2年に在籍／在籍予定の外国人私費留学生（正規生に限る）。※留年、博士後期課程、および「博士課程」は応募対象外 ④学業、人物ともに優秀であり、健康である。

また、日本語による意思伝達が十分可能であり、国際理解と国際間の友好親善に寄与できる者。

⑤奨学金の重複受給は認めない。ただし、大学の「授業料免除（減額）プログラム」、「一時奨励金」もしくは貸与型奨学金は可

給付金額：月額11万円 ※合格者の内、選考

総合順位が高い一部の学生にはさらに4万円の住宅補助費を含む月額総額15万円支給

給付開始：2019年9月以降

給付期間：原則1年間

募集人数：約100名

応募方法：似鳥国際奨学財団公式WEBサイト内

→外国人対象奨学金→【奨学金 応募エントリー】

から情報登録にて応募

募集締切り：2019年4月30日（火）

団体連絡先：〒115-0043 東京都北区神谷3

丁目6-20（株）ニトリホールディングス東京本部内（公財）似鳥国際奨学財団

E-mail: nitoriKSZ_09@nitori.jp

<http://www.nitori-shougakuzaidan.com/>

イベント情報

第16回 日本語スピーチ大会（東京・杉並区）

●**内容** 日本で暮らしている外国の方が、感じたこと、体験したこと、出身国のことなどについて、日本語で発表します。お気軽にご参加ください。

●**日程** 2019年3月2日（土）13:30～17:00（開場13:00）

●**場所** 座・高円寺2 地下2階（高円寺北2-1-2 JR高円寺駅より徒歩5分）

●**定員** 200名 (申込順)

●**申込** 主催者 WEB ページから。または E メール、FAX にて

●**主催・問合せ先** 杉並区交流協会 TEL: 03-5378-8833 FAX: 03-5378-8844

E-mail info@suginami-kouryu.org URL http://www.suginami-kouryu.org/

外国人留学生と経営者の合同企業面談会「社長 LIVE 2020」

●**内容** 外国人留学生を本気で採用したいグローバル企業の社長 12 人と、直接会える特別選考会です。企業が留学生にどのような仕事を任せたいか、どのような活躍を期待しているかを、社長から直接聞くことができます。毎年、たくさんの留学生が内定を決めています。

●**参加企業** 自動車部品メーカー、飲料メーカー、精密機器メーカー、化学メーカー、医療機器・医療設備メーカー、電子機器メーカー、鉄鋼メーカー、アパレルメーカー、環境調査・分析会社、物流会社

●**参加資格** 日本語能力試験 N2 レベル以上 2019 年 3 月～2020 年 3 月卒業の方

●**日程** 2019 年 3 月 20 日 (水) 13:00～18:00 (受付開始 12:30)

●**場所** 東京都内の会場 ※ 参加が決まった留学生には、ASIA Link からのメールで、当日の会場の場所をお伝えします

●**定員** 100 名 (電話面接に合格した人のみ)

●**申込方法** WEB ページよりエントリー → 留ナビ (https://www.asialinkryunavi.com)

●**主催・問合せ先** 株式会社 ASIA Link 東京都小平市小川町 2-1971 エッグビル 305

Tel 042-312-1074 E-mail info@asialink.jp

MEMBERS

〈会費とご寄附の報告〉

2018 年 10 月

賛助会員

(1 口)

東洋パーツ (株) 秩父郡

正会員

(1 口)

奥山 節子 西村山郡
倉内 憲孝 池田市

中村 尚司
堤 祐子
出澤 正徳
郭 南燕
小木曾 友
佐藤 和江
小野里 光博
中西 鶴子
福本 一
山田 守一

京都市
江東区
鶴ヶ島市
京都市
ふじみ野市
日野市
文京区
名古屋市
船橋市
港区

ご寄附

宮崎 悦子 金沢市
山口 憲明 日野市
大島 雅子 千代田区

2018 年 11 月

正会員

(1 口)

本田 憲之助 熊本市
清水 恭子 練馬区
築山 創介 北区
小田中 聰樹 仙台市

ご寄附

永井 和子 世田谷区

皆様の暖かい御支援に
感謝申し上げます

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人です。財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：公益財団法人アジア学生文化協会
ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION

(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 白石勝己

設 立：1957年（昭和32年）9月18日
故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的和合と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◇主な事業◇

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◇会費（年額）◇

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌『アジアの友』が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（十税）でお送りいたします。

当財団に対する寄附金は、所得税、一部自治体の個人住民税、相続税、及び法人税の税制上の優遇措置があります。

2015年度より購読料に別途消費税費をご負担いただくことになりました。何卒ご了承下さい。

『アジアの友』発行回数変更のお知らせ

諸般の事情につき、2019 年度より本誌『アジアの友』は現在の年 6 回（隔月）発行から、年 4 回（季刊）の発行に変更させていただきます。定価は従来通り 1部500円（税別）です。

発行回数の変更に伴い、ご迷惑をおかけすることになりますが、今後とも引き続きご高配賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、変更後の年間購読料等詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。

後 記

2019年4月かはいよいよ外国人労働者の受け入れが拡大される。それに向け入管法改正が行われた。外国人労働者の受け入れに当たっては、まだまだあいまの部分も多い。留学生の就労と合わせ今後ともフォローをしてゆきたい。

長年取り組んでこられた仕事が、栄えある賞を受賞されたお二人の方のご紹介を本号でしている。一人は、当財団のアジアセミナーで長年韓国語を教えている山下透先生。子供のころ無線を始め、12才の時、韓国KBS国際放送（日本語放送）で韓国語講座を独学で始め、その後大学で韓国語を専攻、今日までに仕事も含め訪韓回数は数百回に上るといふ。アナウンサーを志したこともあり、NHK国際放送で活躍されている山下先生にとっては今回の受賞はことのほか嬉しい受賞だと思う。また、もう一人の伊井健一郎先生は、大学で中国語を専攻され、日中国交正常化以前の1965年に日中青年友好大交歓会で訪中。その後も中国と仕事で係り、その後大学で中国語の教鞭を執る。北京大で在外研究をしている時に周而复『長城万里図』（6巻）を手にし、日本語版の翻訳・出版を志す。その後134名の翻訳者の協力を得、22年をかけた大きな仕事を完成させた。それに対する受賞である。お二人は、日韓、日中の間に長年身を置き積み重ねてきた実績、成果が認められての受賞だ。心からお祝いを申し上げたい。（F）

アジアの友 2018年12月号・2019年1月号

2019年1月20日発行（通刊第536号）

年間購読（送料共）3,000円＋税 1部 500円＋税

発行人 白石勝己

編集 アジアの友編集部

発行者 公益財団法人 アジア学生文化協会

東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)

電話番号：03-3946-4121

ファクシミリ：03-3946-7599

振替口座：00150-0-56754

E-mail: tomo@abk.or.jp

ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)

2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN

☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599

Email: tomo@abk.or.jp

Home Page: http://www.abk.or.jp/

会員並びにご購読のお申込みはメール・電話または巻末の振替用紙にてお願いいたします。



学校法人 ABK 学館

ABK学館日本語学校

所在地 〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-12-12

電話番号 +81-3-6912-0756

FAX +81-3-6912-0757

URL <http://abk.ac.jp>

E-mail info@abk.ac.jp



**ABK
COLLEGE**

2013年4月に完成した新校舎

新築3階建校舎。最新の耐震設計です。

留学生の絆が作る日本語学校

ABK学館日本語学校（英語名称：ABK COLLEGE）は1957年に設立された公益財団法人アジア学生文化協会が寮生活や日本語を学習した留学生、そして多くの関係者のご寄付と献身的な協力により、学校法人による日本語学校として2014年4月に開校しました。当校には姉妹校のABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会）もあり各種協力を行います。



授業風景イメージ



寮の一例



ABK日本語コース

ABK COLLEGE

ABK COLLEGE 学校法人ABK学館ABK学館日本語学校 東京文京区本駒込2-12-12 本館 3階 3号館 2階			
	4月入学 1年コース	10月入学 1年半コース	4月入学 2年コース
授業時間	860時間	1,290時間	1,720時間
入学検定料		20,000円	
入学金		80,000円	
授業料 (施設・教材費含む)	620,000円	930,000円	1,240,000円

姉妹校 ABK日本語コース（公益財団法人アジア学生文化協会） 文京区千石5-1-1 千石学生文化センター3階3号館		
	4月入学1年コース	10月入学1.5年コース
授業時間	1,086時間	1,586時間
入学検定料		20,000円
入学金	80,000円(大学進学日本語課程) 95,000円(大学進学準備課程)	
授業料 (施設・教材費含む)	720,000円	1,080,000円

所在地 〒113-8642 東京都文京区千石5-1-12
電話 +81-3-5946-2171 FAX +81-3-5946-7518
E-mail info@abk.or.jp
E-mail nishinagabk.or.jp

